

今号のTOPICS

- 「第13回自動認識総合展 大阪」盛況のうちに終了
- 「第18回自動認識総合展」出展のご案内
- 「第18回自動認識システム大賞」募集のご案内
- 「平成28年度自動認識技術者資格認定講習・試験」のご案内
- 「市場統計調査」にご協力をお願い

—「第13回自動認識総合展 大阪」盛況のうちに終了—

当協会では、自動認識システム等に関する普及啓発を目的として、東京と大阪で「自動認識総合展」を開催している。大阪で第13回開催となる今回は、29社・団体、50小間の出展があり、盛況のなか、出展各社の新製品、ソリューションが多数展示され来場者との商談が活発に行われた。



主催者の挨拶：代表理事会長 伊沢太郎



ご来賓の挨拶：経済産業省 近畿経済産業局
製造産業課長 森下剛志 様

■ 29社・団体の出展、盛況の開幕

2月18日、第13回自動認識総合展 大阪が開幕。初日は、午前9時45分よりマイドームおおさか1階展示場前で開会式を開催、ご来賓の方々や出展社の方々が集まった。

始めに主催者を代表して、代表理事会長の伊沢太郎が登壇「この展示会も13回を迎え大阪で認知されてきたことへのお礼を述べ、今回のテーマはNext Stage of Auto-ID でTPP、IoT、Industry4.0などモノとモノ、ヒトとモノ、ヒトとヒトをつなぐキーテクノロジーが自動認識技術であり、新しいソリューションに繋がることを確信している」と挨拶を述べた。

次にご臨席を賜ったご来賓の代表として経済産業省近畿経済産業局産業部 製造産業課長 森下剛志様より「昨今、第4次産業革命、IoT、ビッグデータなどがキーワードとなっているが、それらを実現するには自動認識技術が必須であり、本展示会が時を得た展示会であること、経済産業省として、ロボット、IoTに注力しており産・官・学の連携で産業革命を支援していくことを表明しており、これらを支える技術としての自動認識技術を集めた自動認識総合展 大阪が成功裏に終わることを願っている」とご祝辞を述べられた。



■ BT Spice 自動認識セミナー 大阪

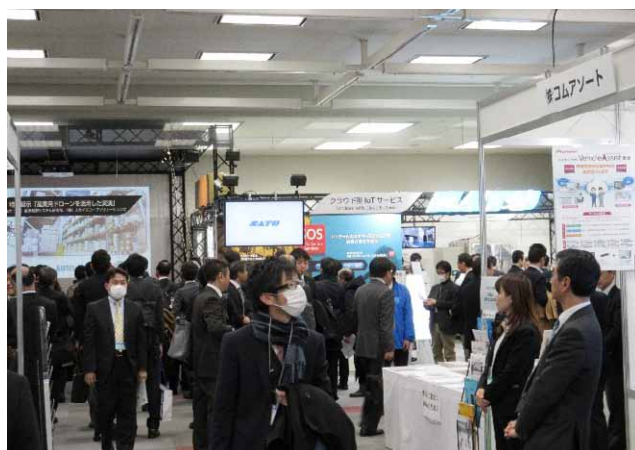
開催初日の10時20分から、とりの大阪商工会議所会議室にて、JAISAセッションの市場統計調査報告とチュートリアルセッション(自動認識の基礎講座)から講演がスタートし、午後からは第17回自動認識システム大賞、優秀賞、フジサンケイ ビジネスアイ賞を受賞した事例の講演が行われた。2日目は医療現場での活用、物流、流通をテーマに講演が行われた。2日間で8セッション15講演を実施、いずれも他では聞けない貴重なセミナーであり、聴講者は真剣に耳を傾け、聴講後の質疑応答も活発なものがあつた。



■ 第13回自動認識総合展 大阪

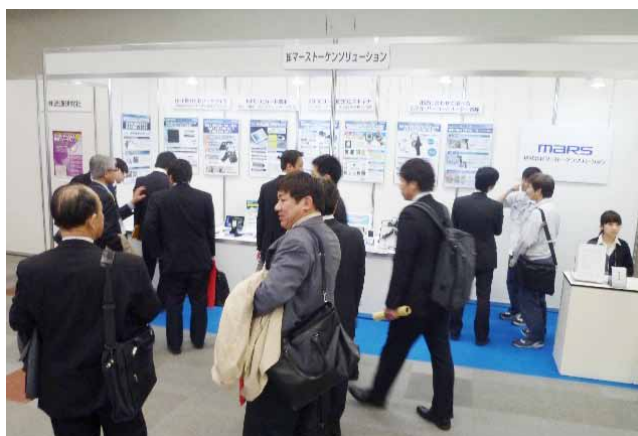
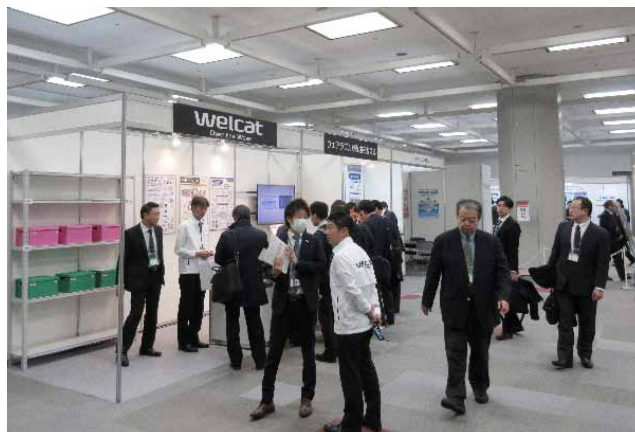
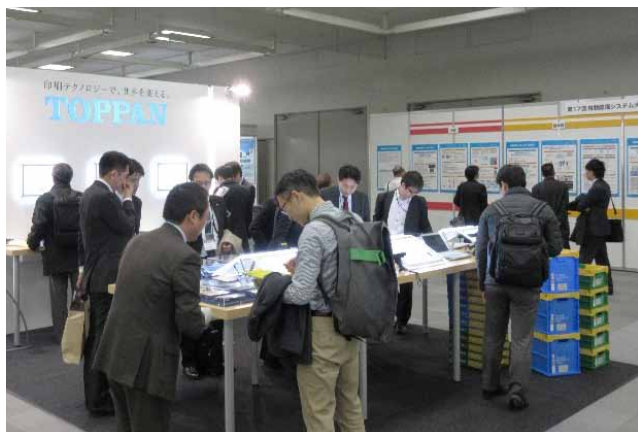
マイドームおおさか1階展示会場では、29社・団体、合計50小間(昨年29社・団体、46小間)、昨年より展示小間数が多くなり、出展各社も展示に工夫を凝らしたものが多く見受けられた。新製品も各々あつたが、ソリューション提案が多くあつたのも今回の展示会の特長であつた。テーマは「Next Stage of Auto-ID IoT時代のKeyテクノロジー」としたが、出展各社はテーマに即した展示となっており、来場者の期待を裏切らないモノであつた。

今回の来場者数は、初日 1,436名、2日目 1,581名、会期中の総来場者数は、3,017名であつた。

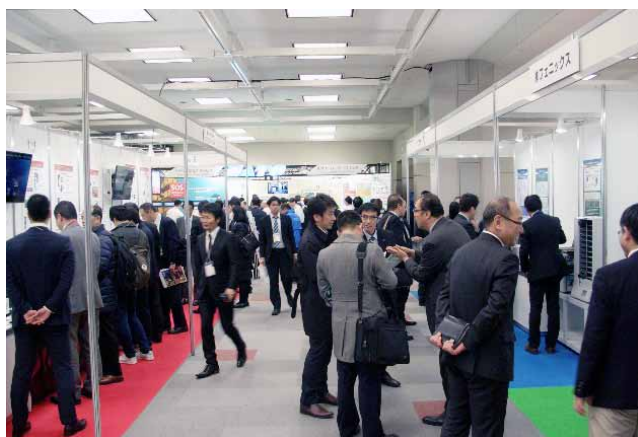
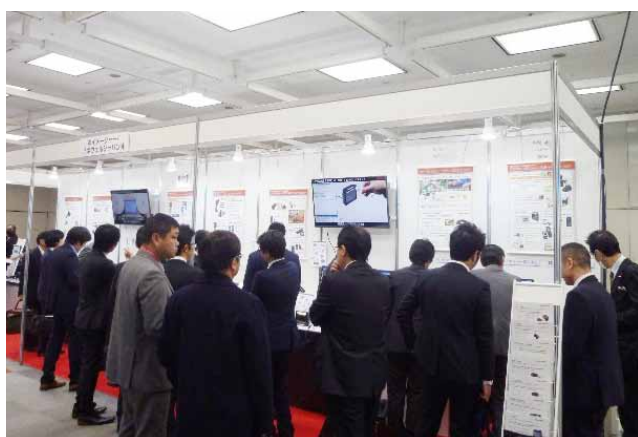
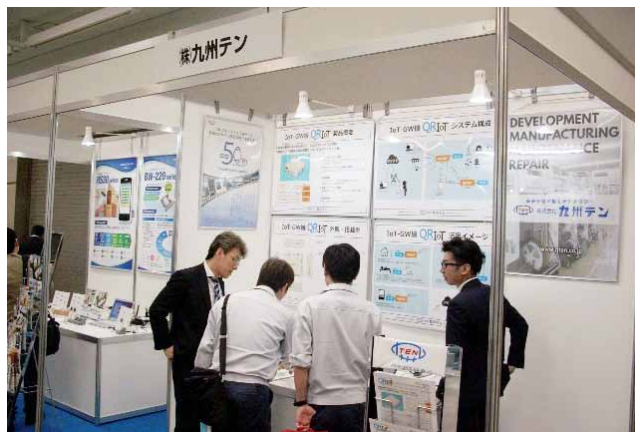


開催規模	29社・団体
来場者数	3,017名
セミナー参加数	395名

■ 出展社ブースのご紹介



■ 出展社ブースのご紹介



自動認識技術者 資格認定登録制度のご紹介

～社会インフラとして様々な分野で活躍し、今後も更なる 発展が期待されている「自動認識技術」の資格試験～

当協会では2004年より、自動認識技術者の資格認定登録制度を実施しております。特に基本技術者資格においては、“業務経験に偏らない、幅広い知識の修得”や“基礎知識の再確認”そして“さらなるスキルアップ”に、また“社員教育・研修の一助”として、当協会の会員・非会員を問わず、多くの方に本資格認定登録制度をご活用いただいております。

目 的

自動認識技術やシステムの導入・改善等の技術的ニーズに的確かつ迅速な対処ができるよう、エンジニアリング業務・システム業務に従事する自動認識技術者の育成・増加のため、当協会が資格認定登録を行うものです。

資格の種類

■基本技術者資格

新入社員、中堅社員、学生等、自動認識技術に関する基本的な知識の習得を目指す方。

■専門技術者資格(RFID専門技術者資格・バーコード専門技術者資格)

自動認識基本技術者として当協会に認定登録されており、より専門的な知識の習得を目指す方。

資格取得者の認証

資格取得者であることを証明するものとして、当協会が登録証(カード)および、登録証書(賞状)を発行します。また、ご希望の方には当協会のWebサイトで氏名を公表しております。

名刺に資格名と認定登録番号を表記して、自動認識技術に関する知識を有する資格保持者であることをPRするなどの活用方法もございます。

●お問い合わせ●

一般社団法人 日本自動認識システム協会
資格試験事務局

電 話 : 03-5825-6651

E-mail : license@jaisa.or.jp

自動認識技術者資格認定試験の実施

■基本技術者資格

2日間の講習及び試験(受験のみ可)

第27回実施日:2016年 7月 8日、9日(東京会場)

第28回実施日:2016年 8月26日、27日(大阪会場)

第29回実施日:2016年 10月21日、22日(東京会場)

※来期は大阪でも開催いたします。

■RFID専門技術者資格

3日間の講習及び試験

第11回実施日:2016年12月 1日、2日、3日 講習
2016年12月10日 試験

■バーコード専門技術者資格

来期は実施しません。

受講・受験料

■基本技術者資格

JAISA会員	受講・受験	30,000円
JAISA非会員	受講・受験	50,000円
学 生		30,000円
受験のみ		10,000円

■RFID専門技術者資格

JAISA会員	40,000円
JAISA非会員	60,000円
受験のみ(条件あり)	20,000円

※受講・受験料は平成27年度のもので改訂の可能性
がありますので最新情報をご確認下さい。

試験の実施予定等の最新・詳細情報は当協会Webサイトにて公開しております。

URL : <http://www.jaisa.jp/license/index.html>

「第18回自動認識システム大賞」募集中

当協会では、「第18回自動認識システム大賞」の募集を開始しました。この制度は、先進的かつその効果が極めて顕著な優れた自動認識関連の技術やシステムを表彰するものです。応募要領は下記の通りです。

自動認識システム大賞 応募要領

■賞の種類

大 賞	1点（賞状、賞金30万円）
優秀賞	2点（賞状、賞金10万円）
特別賞*	1点（賞状、副賞）
フジサンケイビジネスアイ賞	1点（賞状、副賞）

※この賞は、自動認識システム大賞応募書類作成要領の7項（申請の詳細）にて、秀でた項目があれば対象に致します。

※表彰式における表彰対象は、応募作品1点につき、最大3社・団体までと致します。

■募集対象

自動認識に関するシステム、あるいは技術で国内にて実用に供しているもの、または実用目的が立っているものを対象とし、日本国内の企業、団体、個人を募集対象と致します。

■応募条件

受賞後は、当協会が設定したセミナー等で、プレゼンテーションをして頂く事と、当協会が出版、寄稿等に使用させて頂く事を条件と致します。

■スケジュール

応募締切：2016年5月31日（火）

審査：予選審査及び表彰審査を行います。予選審査で優良作品（8～10点を予定）に、選定された場合は、表彰審査委員会において応募者によるプレゼンテーションをお願い致します。（但し、旅費、交通費は自己負担）※詳細は、予選審査会終了後に、対象者にご案内致します。

表彰：2016年9月14日（水）

「第18回自動認識総合展」レセプション会場にて行います。

作品の発表：2016年9月14日（水）

「第18回自動認識総合展」会場内にて、受賞者によるプレゼンテーションを行って頂きます。また、受賞作品の内容はパネル化して、会場内JAISAコーナーに展示致します。

■応募方法

指定フォーマットに沿って申込書を作成し、容量が5MB以下の場合は下記へE-Mailで、それ以上はCD-Rで送付下さい。

送付先：

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7階
（一社）日本自動認識システム協会 システム大賞 事務局 担当宛
E-Mailでの作品送り先及びお問合せ：
system-award2016@jaisa.or.jp

■自動認識システム大賞応募書類作成要領

以下の1～9までの項目について記述して下さい。なお、指定フォーマットはホームページに掲載しています。

- 技術分野：**以下の項目で該当するすべてを記述して下さい。（複数回答可）バーコード（一次元シンボル）、二次元シンボル、RFID（RFタグ）、ICカード、NFC、磁気カード、OCR、バイオメトリクス（指紋・顔貌・静脈・音声・虹彩・掌形の認証）、その他
- 申請テーマ：**内容を的確かつ具体的に表現し、簡潔で分かりやすい名称を30文字以内で記述して下さい。
- 申請会社名・団体名：**記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mailです。
- 共同申請会社・団体：**共同申請会社・団体がある場合は記入欄に共同申請会社・団体名を記入して下さい。※表彰式における表彰対象は、応募作品1点につき、最大3社・団体までと致します。
- ユーザー名・団体名：**記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mailです。※公開して良い場合のみ記入、非公開の場合は会社名の欄に、業界名を記入して下さい。
- 概要：**申請した技術やシステムについて、その概要を150字程度で記述して下さい。
- 申請内容の詳細：**申請した技術やシステムに関し、以下の項目について強調したい事項を中心に記述して下さい。
 - 新規性：**技術的新規性、市場的新規性、企画的新規性等。
 - 導入効果：**経済的導入効果、品質的導入効果（定量的に）、利便性等。
 - 社会的価値：**公共性、環境性、その他（特筆すべき社会貢献度）
 - その他：**導入した実績（定量的に）。実績がまだない場合は、推定実績でも可。
- 機器、システム構成：**申請した技術やシステムについて写真、図等を使用し記述して下さい。（別紙可）
- 補足資料：**申請した技術やシステムの優位性を説明する補足資料があれば提出して下さい。

<ご参考>

過去の受賞作品は、HPに掲載しております。当協会のHP（www.jaisa.jp/award/history.html）から、ご覧下さい。

問い合わせ先 （一社）日本自動認識システム協会 TEL：03-5825-6651 URL：<http://www.jaisa.or.jp>

AUTOID & COMMUNICATION EXPO

第18回 自動認識総合展

出展社を
募集中!
締め切り
5月27日(金)

当協会では、2016年9月14日(水)～16日(金)に開催する、「自動認識総合展」の出展社を募集しております。

本展示会は、ユーザーの皆様が抱える諸課題に、新製品・新技術を用い、最適なソリューションを提供する事を最大の目的としております。前回の来場者数は、24,584名。国内外から来場を頂いております。

出展社アンケートでは、商談に結び付く訪問者数での期待した以上の回答が、昨年比UPの傾向にあります。是非とも「自動認識総合展」にて、貴社製品のPRをご検討下さい。

皆様のご出展を心よりお待ちしております。

と き : 2016年9月14日(水)～16日(金)
と ころ : 東京ビッグサイト東4展示場
主 催 : 一般社団法人 日本自動認識システム協会
後 援 : 総務省・外務省・経済産業省(予定)
特別協力 : フジサンケイ ビジネスアイ
協 賛 : 一般財団法人 流通システム開発センターほか

AUTOID & COMMUNICATION EXPO
第18回 自動認識総合展
2016.9.14(水)～16(金) 10:00-17:00 東京ビッグサイト 東4ホール

モビリティ&ウェアラブルゾーン
画像認識ゾーン
センサネットワークゾーン

IoT時代のKeyテクノロジー

主 催 : 一般社団法人 日本自動認識システム協会
後 援 : 総務省・外務省・経済産業省(以上予定)
入 場 料 : 1,000円(事前登録者・団体持参者等は無料)
併催事業: BtoB Sp'ice 自動認識セミナー

協賛企業数: 約1,000社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 info@autoid-expo.com

JAISA

自動認識総合展、3つの特徴!!

POINT 1

先進の自動認識技術を集めたゾーンを今年も設置!

モバイル端末やウェアラブル機器を集めたゾーン!

モバイル&ウェアラブルゾーン

先進の自動認識技術である画像認識技術を駆使した最新事例を集めたゾーン!

画像認識ゾーン

IoT時代の自動認識技術、各種センサとネットワーク構築サービスを集めたゾーン!

センサネットワークゾーン

POINT 2

出展企業パネル展示「事例でわかる自動認識」

出展企業による「ユーザ導入事例」だけでなく
「ユーザ業界向けソリューション」のパネルも展示可能に!

POINT 3

低価格・小サイズ小間「Bタイプ」

大きく予算は取れないが、自社製品・技術をPRしたい方、
低価格・小サイズ小間「Bタイプ」にて出展をご検討ください。

出展対象

自動認識製品・技術

各種プリンタ: バーコード・二次元シンボル、RFID、カード、ラベル、モバイルなど
各種リーダ: バーコード・二次元シンボル、RFID、カード、複合、

ハンディ・モバイル、ウェアラブルなど

各種媒体: サプライ、ラベル、RFIDタグ、インレイ、NFC、各種カード、Zigbeeなど
バイオメトリクス認証機器: 静脈、指紋、顔、掌形、音声など
マシンビジョン、画像認識、OCRシステム

自動認識を活用した各種ソリューション

製造支援システム、流通・物流システム、小売・卸業支援システム、トレーサビリティ、SCM、イベント・アミューズメント支援システム、CRM、セキュリティシステム、医療・教育・図書館・運輸(鉄道、航空、港湾他)・金融・災害対策等の公共支援システム他

自動認識を活用するための技術・製品

ミドルウェア・プラットフォーム、スマートフォンアプリ、M2M、センサネットワーク、クラウドコンピューティング、その他

出展料(消費税8%込)

Aタイプ(従来規格)

小間規格: 1小間[間口3.0m×奥行3.0m×高さ2.7m]

区 分	小間数	JAISA 会員	非会員
出展料金 (1小間単価)	1～2小間	421,200円	475,200円
	3～7小間	378,000円	432,000円
	8～12小間	334,800円	388,800円
	13～15小間	324,000円	378,000円
	16～24小間	313,200円	367,200円
	25小間以上	291,600円	345,600円

出展料に含まれるもの: 間口3.0m×奥行3.0mの展示スペース、開仕切り(後壁・側壁、独立小間はスペースのみ)

Bタイプ(低価格、小サイズ小間)

小間規格: 1小間[間口2.0m×奥行2.0m×高さ2.7m]

区 分	小間数	JAISA 会員	非会員
出展料金 (1小間単価)	1～2小間 (最大2小間まで可能)	226,800円	259,200円

出展料に含まれるもの: 間口2.0m×奥行2.0mの展示スペース、開仕切り(後壁、側壁1m)、社名板、カーペット、展示台: 横幅1.0m×奥行1.0m×高さ0.8m、スポットライト: 22W×1、コンセント(アース付100V): 2個口×1、500Wまでの電気幹線工事費・電気使用料

問い合わせ先

展示会事務局 (株) シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F

TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909

E-mail. info@autoid-expo.com

詳しくは www.autoid-expo.com/tokyo/

平成28年度 協会スケジュールのご案内

第18回自動認識システム大賞	募集開始：2016年3月1日	募集締め切り：2016年5月31日
第6期総会・懇親会	2016年5月25日(水)	場所：品川プリンスホテル
第27回自動認識基本技術者講習・試験	2016年7月8日(金)～9日(土)	場所：早稲田大学理工学部
第28回自動認識基本技術者講習・試験	2016年8月26日(金)～27日(土)	場所：マイドームおおさか
第18回自動認識総合展	2016年9月14日(水)～16日(金)	場所：東京ビッグサイト
第29回自動認識基本技術者講習・試験	2016年10月21日(金)～22日(土)	場所：早稲田大学理工学部
第11回RFID専門技術者資格認定講習	2016年12月1日(木)～3日(土)	場所：JAISA会議室
第11回RFID専門技術者資格認定試験	2016年12月10日(土)	場所：JAISA会議室

市場調査へのご協力をお願い

当協会では1997年より、自動認識に関する機器やサプライ、ソフトウェアの出荷実績、市場動向の調査を取りまとめた「自動認識市場規模調査報告書」を発行しております。

この調査はJAISA 会員企業、非会員企業の協力を得て20年間継続して実施しており、自動認識機器、サプライ、ソフトウェアの長期的な市場動向の把握と将来の予測を行うことが出来るものと確信しています。

2015年度版も4月発刊予定であり、データ収集も最後の追い込みをかけております。この調査の精度を上げるために少しでも多くの会員様、非会員様にご協力をお願いしております。

会員の皆様と自動認識に関わる企業様よりのデータ提供がこの調査の生命線であることをご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

自動認識市場規模調査報告書
平成26年1月～平成26年12月
出荷数量・出荷金額

一般社団法人 日本自動認識システム協会

事務局
だより

近所を散歩すると満開の梅を見かけるようになりました。まだまだ寒い日がありますが、たまさかに暖かい日があると春の近づきを感じます。

春と言えば、会社では決算、人事異動、組織変更などの季節ですが、当協会も自動認識総合展大阪を終了し、市場統計調査報告書の作成、自動認識システム大賞の募集、研究開発センターの受託事業の最終的な取りまとめ等を進めております。

これらの各事業は皆様のご支援とご協力のもとに成り立っており、JAISA 職員一同、会員の皆様の満足度を高めるべく各事業を推進してまいります。今後も当協会事業活動にご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(事務局：高田 義三)

